

会 議 録	
会議名	令和 5 年度丸亀市福祉推進委員会（第 2 回丸亀市介護保険事業計画等策定委員会）
開催日時	令和 5 年 12 月 14 日（木）14：00～14：50
開催場所	丸亀市役所 4 階 特別会議室
出席者	<p><b>出席委員</b></p> <p>北川委員、武田委員、香川委員、吉田委員、進委員、金丸委員、糸川委員、木下委員、森委員、宮武委員、古賀委員、米本委員、濱野委員 13 名</p> <p><b>欠席委員</b></p> <p>藤田委員、近石委員、鎌倉委員 3 名</p> <p><b>事務局</b></p> <p>健康福祉部長 奥村、高齢者支援課長 堀瀬、地域包括支援センター所長 香川、高齢者支援課 横井</p>
次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 第 10 次丸亀市高齢者福祉計画及び第 9 期丸亀市介護保険事業計画（骨子案）について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の趣旨
事務局	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>会長が少し遅れるという連絡が入っておりますので、議事に間に合うようでしたら会長にお願いするのですが、それまでの間、副会長にお願いいたします。</p> <p>今回、司会を担当いたします高齢者支援課の横井と申します。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>事務局からご参会の皆様にお願ひがあります。</p> <p>携帯電話をお持ちの方は電源を切るかマナーモードに切り換えてください。また、本日の会議内容につきましては、本市ホームページ等で公開いたしますので、あらかじめご理解ご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、ご発言の際には、マイクを使用してのご発言をお願いいたします。</p> <p>それでは、ご案内の時間が参りましたので、ただいまより令和 5 年度丸</p>

	<p>亀市福祉推進委員会、令和5年度第2回丸亀市介護保険事業計画等策定委員会を開催いたします。</p> <p>最初に丸亀市附属機関設置条例第1条別表の規定により、会議の成立には審議会委員の半数以上の出席が必要となります。委員定数は16名で、本日は13名の委員が出席していますので、本会は成立いたしますことをご報告申し上げます。</p> <p>ここで、健康福祉部長の奥村からご挨拶を申し上げます。</p> <p><b>【部長挨拶】</b></p> <p>ここからの審議は、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定に基づき、会長が議長となり議事進行いたしますが、会長が少し遅れますので進副会長にお願いします。</p>
副会長	<p>それでは議題1第10次丸亀市高齢者福祉計画及び第9期丸亀市介護保険事業計画について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【資料説明】</b></p> <p>ここで、前回ご質問をいただいた内容についてお答えいたします。</p> <p>前回、介護予防日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の回答者の平均年齢を示すようにというご質問がありましたので報告します。</p> <p>まずニーズ調査ですが、75歳となります。</p> <p>在宅介護実態調査の方につきましては84歳となります。</p> <p>以上報告します。</p>
副会長	<p>今の説明に対しましてご質問ご意見がありましたらお願いします。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは引き続いて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【資料説明】</b></p>

会長	今の説明に対して質問やご意見ございましたらお願いします。
古賀委員	<p>二つあります。</p> <p>一つ目は、67 ページの追加で、今後の課題で聞こえについての総合的な取り組みが必要とのことですが、これからの取組の表現で聞こえが含まれているのかということ。</p> <p>二つ目は 72 ページの 3 行目の修正箇所のところ、定年延長により高齢者の社会参加という言葉が近いところに記載されているので、1 回にできるのではないかと思います。</p>
事務局	67 ページに関しては、聞こえについて直接的な言葉はありませんが、運動に特化したフレイル予防だけでなくそれ以外のフレイル予防として、ヒアリングフレイルである聞こえの取組みを行っていきます。
会長	また、高齢者の社会参加というワードが重複しているのではないかと、うご指摘ですが、文言の精査を行っていきたいと思います。
糸川委員	老人会と老人クラブの違いはありますか。
事務局	市では老人クラブに対して市から補助金を交付しており、老人クラブは 60 歳以上となっています。
濱野委員	58 ページの現状のところ GPS 機能付き位置情報システム初期費用助成とありますが、実際の実績とか利用状況が分かりましたら。
事務局	GPS 機能につきましては民間のサービスがあり、靴に仕込むようなもので、助成金額 1 万 2 千円が上限ということで補助をしています。令和 3 年 10 月から実施しており、現在累積で 6 名となっています。1 名 GPS 機能によって、不明になったところがすぐに発見されたということを知っています。
会長	他に質問はありますか。
	続いて事務局の方から説明をお願いします。
事務局	<b>【資料説明】</b>

会長	それではご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。
副会長	45～46 ページの指標で飯山の場合は、飯山南と北 2 つあるが 1 つの社会福祉協議会として活動しており、綾歌では 3 つのコミュニティが 1 つの支部として活動しているがどう捉えたらいいのか。
事務局	こちらはコミュニティ単位行っています。 城北、城乾、城坤、垂水、城西、飯野、川西、郡家、飯山北・南、岡田の 11 コミュニティです。
糸川委員	全コミュニティへの取組みの予定は。
事務局	推進し全コミュニティで実施ということを目指していきます。
濱野委員	介護人材が不足している状況です。私の施設でも東南アジアの方が来てくれている。市では外国人に住んでもらうために考えていることがあるのでしょうか。
事務局	方向性としましては外国人支援だけでなく、介護人材の不足というところをご支援できるような施策を検討していきたいと考えております。
糸川委員	日本人だけでは現実的ではなくなっている。外国人に担っていただかないと難しいと思っているが、どのように考えているのか。
事務局	人手不足の解消に関して外国人の雇用というのは一つの手段だとは思っています。国の方では、日本人の介護人材の確保ということで、賃金を上昇させるような取組みを行っておりますので、そういったところも考慮しながら介護人材の確保を考えていく必要があると思っています。ただ 2040 年に高齢者のピークアウトが来ると言われており、その時に合わせて労働力の不足がかなりあり、介護分野だけでなく、さまざまな分野のところで人手不足となり、争奪戦になることが想定されているので、近い将来難しい状況になると思っています。
糸川委員	外国の方に来てもらうのが建設的だと思います。団塊の高齢者がだんだ

	<p>ん減ってくる時代がくるので、施設も減っていく中で若い人に終身雇用のように働いてもらうのは難しいと思う。</p>
事務局	<p>決まった方針はすぐには出せませんが、社会資源や機械化等を踏まえてよりよい職場環境を作っていくように、国の方の情報もいただきながら進めて参りたいと思います。</p>
会長	<p>庁内での連携や市内にある専門学校とも協力できればいいと思います。</p>
事務局	<p>ちなみに、市内の専門学校は数年前までは日本人の方がおられたんですが、ここ数年は外国人の方が大半です。現在は、コロナもあり入国が難しくなり、なかなか来られない状況です。</p>
会長	<p>その他、事務局からありますか。</p>
事務局	<p>次回は 12 月 28 日の午後 2 時からの開催を予定しております。</p>
会長	<p>以上で終了いたします。</p>